

主題名 やさいとなかよしになろう

ほうれん草・長ねぎ・人参・ピーナッツ —千葉県—



地場産物の説明

千葉県では全国に誇れる産地・産品づくりと、生産された農作物の積極的な販売促進を「愛情いちばん・ふるさと産品づくり運動」として平成9年12月から行っている。そしてこの対象になる農作物と加工品が「愛情いちばん千葉の農産物」である。安心野菜の証として「スリーハートマーク」が箱に書いてあり、今回使ったにんじんもこれにあたる。にんじんは北海道に次いで生産量全国第2位で、給食にも多く使われている。

私たちの住む習志野市でも、ほうれん草、長ねぎ、大根、小松菜、にんじんなどの野菜が作られており、給食にもとりいれている。とくに、にんじんは「あやほまれ」という甘い品種で、全国でも有名である。

献立例

黒米ごはん、牛乳、ホッケのみりん一夜干し、ひつつみ、ピーナッツ和え

1人当たりの栄養量 (小学校)

エネルギー	659kcal
たんぱく質	30.5g
脂質	20.3g
カルシウム	443mg
鉄	2.9mg
ビタミンA	454μgRE
ビタミンB ₁	0.41mg
ビタミンB ₂	0.59mg
ビタミンC	27mg
食物繊維	4.6g
食塩	2.8g
マグネシウム	121mg
亜鉛	3.4mg



給食の時間の指導 (感謝の心)

みなさんが住んでいる千葉県ではたくさんの野菜がとれます。今日の給食では、にんじんやピーナッツが千葉県で作られたものです。ピーナッツは全国的に有名です。また、ほうれん草、長ねぎは習志野市でとれたものです。

とれたてのおいしい新鮮な野菜は、農家の方が一生懸命育ててくれた野菜です。

この野菜には、みなさんのからだの調子を整えてくれる働きがあります。みなさんが千葉県の野菜のことを覚えて、残さず食べることで、野菜をつくってくださった農家の方に感謝の気持ちをあらわしましょう。

小学校 第1学年 道徳学習指導（略）案

日時 平成21年 月 日 第 校時

対象 1年 組 名

指導者 担任 (T1) 栄養教諭等 (T2) 農家の方 (GT)

1 主題名 やさいとなかよしになろう

2 主題設定の理由

飽食の時代と言われる現在、子どもたちのまわりには多くの食品があり、いつでも好きなものを好きなだけ食べることができる。健康に生きていくためにはバランスのよい食べ方が大切であるが、子どもたちは、なぜ好き嫌いがいけないのかということへの理解が不足しているため、自分が嫌いなものは残すという傾向が見受けられる。給食においても、野菜のサラダや和え物の残りが多い。そこで、農家の方々の野菜作りへの苦勞に気付かせることにより、食べ物に感謝して大切に食べようとする気持ちを育てたいと思い、本主題を設定した。

3 児童の実態

給食はよく食べるクラスであり、野菜を好きと答える児童が多いが、給食の残りを見ると、実際にはサラダや野菜の和え物、根菜の煮物などの残りは多い。

4 本時の指導

(1) 本時の目標

給食にでる野菜づくりの苦勞を知ることにより、食べ物や農家の方に感謝する気持ちをもたせる。

〈食育の視点〉

- 自分たちの住んでいる千葉県でとれる野菜を知り、すすんで野菜を食べようとする意欲をもたせる。(食文化)
- 地域の農産物について学び、生産者の気持ちを理解し尊重する心をもつ。(感謝の心)

(2) 展開

過程 時配	学習内容・活動	教師の支援(●)・評価(◎)	教材、資料
導入 7分	○ 昨日の給食を思い出して、どんな野菜が使われていたかを振り返る。 ・ 野菜に土がついている ・ 野菜が切られていない ・ 野菜が箱につめられている	● 実際に給食で納品されたものの写真や箱を見せ、給食が作られる前の野菜の姿をイメージできるようにする。(T1) ◎ 自分たちが食べている給食との違いを見つけることが出来たか積極的に発表できるよう支援する。	・ 野菜の写真 ・ 野菜の箱
	○ 野菜の絵を見て、野菜の名前がわかるか「いきいきちばっこ」に書き、発表する。	● 千葉県でとれる食べ物であることを知らせ、いもや果物、落花生などもあることを知らせる。(T2)	・ いきいきちばっこ(拡大図)
展開 25分	○ 農家の方から野菜づくりの苦勞話を聞く。 ・ 天候により育ち方が変わること ・ 虫がつかないようにすること ・ 家族総出で収穫をすること ・ 形がよくないと買ってくれないこと ○ 今日の給食の中にどんな野菜が入っているか知り、残さず食べようとする意識をもつ。	● 野菜づくりの大変さに気付くように支援する。(T1) ● 給食にはたくさんの野菜がはいっているということに気付かせ残さず食べようという意識を高めるようにする。(T2)	今日の給食に入っている野菜(実物) ・ はてなBOX
まとめ 13分	○ これからがんばることを書き、発表する。	◎ これからがんばることを書かせて発表させ、実践への意欲付けを図る。(T1)	・ いきいきちばっこP27

(3) 評価

農家の方の野菜作りの苦勞話を知ることにより、食べ物や生産者に感謝する気持ちが育ったか。